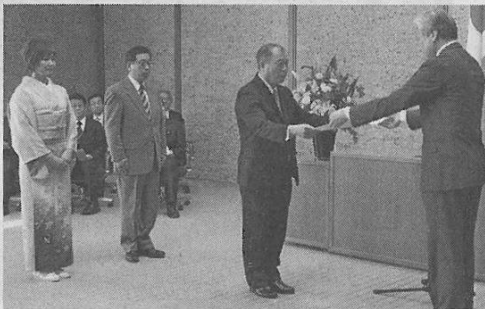


3組が「元気大賞」 栃木県農業コンクール表彰



表彰を受ける「とちぎ元気大賞」の受賞団体（2日、宇都宮市で）

【とちぎ】栃木県は2日、宇都宮市の県公館で、第10回県元気な農業コンクール「いきいき農村部門」の表彰式を開いた。農村の地域活動に尽力してきた団体などを表彰するもの。福田富一知事やJA栃木中央会の高橋武会長らが、功績をたたえて受賞者に表彰状を授与した。

同コンクールは県、JA栃木中央会、地元の下野新聞社が主催。今年度の「いきいき農村部門」と、農業経営の改善に顕著な成果をあげている農業者を表彰する「経営活性化部門」があり、隔年

で交互に実施している。今年度は「農村活性化」「農村環境保全向上」「女性・高齢者活動」の各部に合計20点の応募があった。最高賞の「とちぎ元気大賞」は、各都府県から「農事組合法人そばの里まぎの（茂木町）」「板荷畑いつくし美会」（鹿沼市）、「㈱升智代表取締役社長布瀬智子氏（益子町）」の3組が受賞した。その他、「とちぎ元気大賞」「特別賞」「優良賞」の各賞も贈られた。

福田知事は「皆さんの活動は活力ある地域づくりに大きく寄与している。コンクールを通じて

地域活性化の取り組みが数多く生まれ、本県農業の発展に支援をお願いしたい」と期待を述べた。



福田知事（前列左から2人目）ととちぎ元気大賞を受賞した3組の関係者。2日午前10時半、県公館、山口達也撮影

第10回県元気な農業コンクール

大賞の3組など表彰

第10回県元気な農業コンクール（県、JA栃木中央会、下野新聞社主催）いきいき農村部門の表彰式が2日、県公館で行われ、農村地域の振興に尽力する団体・個人20組を表彰した。

最高賞の「とちぎ元気大賞」は、農村活性化の部で農事組合法人そばの里まぎ（茂木町、穀野一男代表理事）、農村環境保全向上の部で板荷畑いつくし美会（鹿沼市、福田明代表）、女性・高齢者活動の部で布瀬智子さん（升智社長、益子町）の3団体・個人が受賞した。

表彰式は、受賞者や県、市町などの関係者約130人が出席。主催者を代表してあいさつした福田富一知事は「県では子どもたちに夢を与え、人を引き付ける農業・農村の実現を目指すているが、皆さんの取り組みは、活力ある地域の実現に大きく寄与する」とたたえた。

今回、農村活性化の部など3部門に計20組の応募があった。同コンクールは、いきいき農村部門」と、農業経営の改善に成果を上げる農業者を表彰する「経営活性化部門」を隔年で実施している。

（田面木千香）



栃木県農業コンクール